



※「ガッチャンコ」とは…

「くっつける」「ひとつになる」という意味で使われる言葉。HBCが、人と人、地域と地域を「つなぐ」存在でありたいという願いがこめられています。

Press Release

HBC 北海道放送株式会社

2017年12月15日

第69回さっぽろ雪まつり HBCスウェーデン広場 大雪像は 「ストックホルム大聖堂」

HBC北海道放送は、2018年2月5日（月）～12日（月・振替休日）に開催される「第69回さっぽろ雪まつり」で、大通7丁目会場「HBCスウェーデン広場」の大雪像を、現地での視察などを経て、スウェーデンの歴史的建造物「ストックホルム大聖堂」とすることを決めました。

【大雪像「ストックホルム大聖堂」】

スウェーデンの首都ストックホルムの中心に位置する、運河に囲まれた旧市街ガムラスタンは、13世紀にストックホルムの開拓と時をほぼ同じくして誕生し、歴史的建造物が並ぶ観光名所となっています。そのガムラスタンの高台に13世紀に建てられたのが、ストックホルム最古の教会「ストックホルム大聖堂」です。14世紀以降に大きな増改築が行われ、時計や鐘などがある現在の姿になっています。

「ストックホルム大聖堂」は、王家の儀式も行われる由緒ある教会です。1976年に現国王のカール16世グスタフ国王の結婚式、2010年にはヴィクトリア皇太子の結婚式が行われました。また、毎年9月には国会の開会後の礼拝会場となり、王族や国会議員が出席します。

大雪像は、「ストックホルム大聖堂」を縮尺約1/2で再現します。大雪像の前には、神学者オラウス・ペトリ（1493-1552）の雪像を制作します。宗教改革の普及のために活躍した神学者で、大聖堂内の講壇の下に埋葬されています。

12月15日（金）のさっぽろ雪まつり実行委員会で、大雪像「ストックホルム大聖堂」の模型を初披露します。

■大雪像データ（予定）※制作過程で若干変更になる可能性があります。

高さ：15m 幅：26m 奥行：16m（いずれも台座を含んだ大きさ）

縮尺：実物の約1/2

制作人員：のべ1,200人（うち、のべ200人は大雪像制作ボランティア）

制作期間：30日間 雪輸送開始：2018年1月7日（日）



ストックホルム大聖堂（スウェーデン）



大雪像「ストックホルム大聖堂」の模型

【HBCスウェーデン広場】

HBCは「さっぽろ雪まつり」でこれまで45年にわたり、毎年さまざまな国や地域をテーマにした広場を運営してきましたが、「スウェーデン」をテーマにした広場を開設するのは初めてです。2018年に、日本とスウェーデンが外交関係を樹立してから150周年を迎えるのを記念して決めました。大雪像「ストックホルム大聖堂」を中心とする「HBCスウェーデン広場」は、日本とスウェーデンの国交150周年祝賀事業となっています。

「HBCスウェーデン広場」で展開する、スウェーデンにちなんだステージやブースなども現在、鋭意企画中です。楽しみ、味わいながら、スウェーデンを知ることができる会場にする予定です。

■大通7丁目会場「HBCスウェーデン広場」

企画：HBC北海道放送

雪像制作：さっぽろ雪まつり大雪像制作委員会 第3雪像制作部会、大雪像制作ボランティア

後援：スウェーデン大使館、北海道スウェーデン協会

■スウェーデンー日本 国交150周年公式ロゴ



大通7丁目会場「HBCスウェーデン広場」では、左の公式ロゴを使用して150周年を祝います。

※この公式ロゴは、両国で国交150周年祝賀事業に関わる行事に使用されます。スウェーデンと日本の国旗の色を使い、両国が150年にわたり織り成してきた友好関係を、縦糸と横糸を使って表したデザインとなっています。

（この公式ロゴは国交150周年祝賀事業の枠組みの中で行事を企画している団体とその他の関連団体のみ、それぞれの大使館承認後、使用可能となります）

■「HBCスウェーデン広場」特設サイト

HBCホームページ（<http://www.hbc.co.jp/>）内に、近日中にオープン予定。会場のステージやブースの内容などをお伝えしていきます。また1月7日（日）からは、ライブカメラで雪像制作の様子を配信する予定です。

＜お問い合わせ＞

〒060-8501 札幌市中央区北1条西5丁目

HBC 北海道放送株式会社

事業局事業部・塚越（つかごし）

電話（011）232-5826

※本プレスリリース掲載の写真もご提供できますので、お問い合わせください。